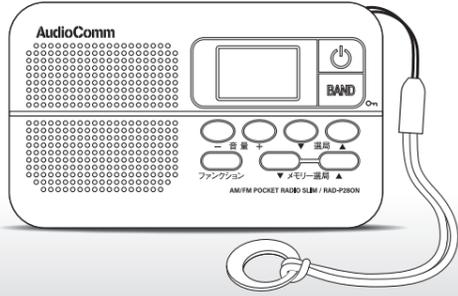


横型スリムラジオ

型番：RAD-P280N  
品番：03-7285

このたびは、AudioComm®横型スリムラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。



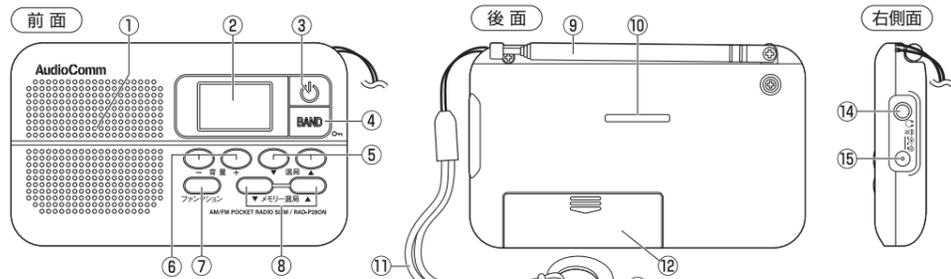
免責事項

- 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
  - 本製品のために費やした時間及び経費
  - 本製品を運用した結果もたらされた損害
  - 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
  - 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

各部の名称



- ①スピーカー
- ②ディスプレイ
- ③電源ボタン
- ④バンド/ホールドボタン
- ⑤選局ボタン(▼/▲)
- ⑥音量ボタン(-/+)
- ⑦ファンクションボタン
- ⑧メモリー選局ボタン(▼/▲)
- ⑨FMロッドアンテナ
- ⑩リングスリット
- ⑪ストラップ
- ⑫電池カバー
- ⑬スタンド用リング
- ⑭イヤホン端子
- ⑮DC IN端子

横置きで使うときは

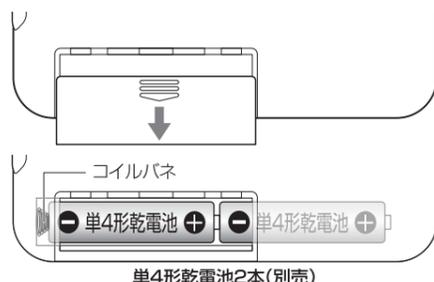
ストラップについているスタンド用リングを背面のリングスリットに差し込むと、横置きにしたときに使いやすくなります。

電源について

乾電池で使うとき(乾電池の出し入れは、必ず電源が切れた状態で行なってください)

以下の手順で乾電池を正しく入れてください。

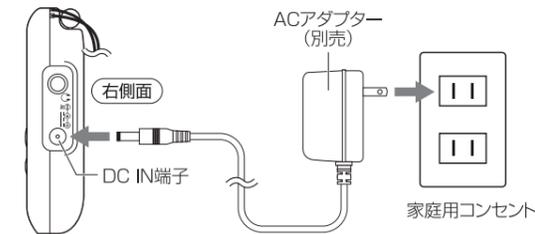
- 1 電池カバーの ≡ 部を押しながら下にスライドさせて電池カバーを取り外します。
- 2 単4形乾電池2本(別売)を、⊕と⊖の向きに注意しながら正しく入れます。  
● 1本目は⊕を奥側に入れてください。そのうえで、2本目を入れるときは、⊖側を先に入れ、コイルバネを少し押し込むようにしてはめ込んでください。
- 3 電池カバーを元どおりにしっかりと閉めます。



- 長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。
- 電池交換時に下記メモリーはリセットされますので、交換後に改めて設定し直してください。  
・受信局のメモリー登録内容 ・時計設定内容

家庭用コンセントに接続して使うときは

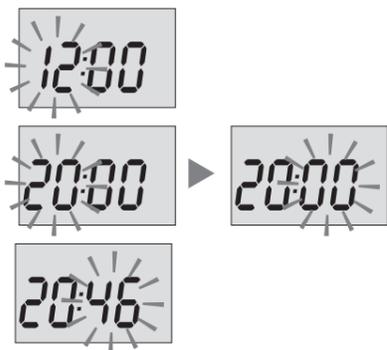
別売のACアダプターを使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントをつないでください。



下記規格の市販ACアダプターをご使用ください。  
DC3V 300mA以上 ⊕●⊕  
適合プラグ径：内径1.3mm 外径3.5mm  
※スイッチング式ACアダプターを使用すると、雑音が発生するので使わないでください。

時刻設定のしかた

- 1 電源が切れている状態で、ファンクションボタンを長押しします。  
● 「時」表示が点滅します。  
● 本機の時刻は24時間表示です。
- 2 音量ボタン(-/+ )を押して「時」を選び、ファンクションボタンを押します。  
● 「分」表示が点滅します。
- 3 音量ボタン(-/+ )を押して「分」を選び、ファンクションボタンを押します。  
● 点滅が止まり、設定が確定します。



- 何も操作しない時間が約5秒間続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。
- ディスプレイにアラームマーク(🔔)が表示されているとき(アラーム設定が有効なとき)は、時刻設定ができません。ファンクションボタンを押してアラームマークを消してから操作してください。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

**警告** 以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音が出るなどの異常を感じたら、すぐに本機から乾電池を取り外す  
・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する  
・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
・販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 本機を分解、修理、改造しない  
・火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用時に雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する  
・落雷や感電の原因となります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない  
・感電や故障の原因となります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない  
・交通事故の原因となります。  
・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する  
・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

**注意** 以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる  
・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使わない  
・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない  
・落下による故障やけがの原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない  
・故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない  
・火災・感電の原因となることがあります
- はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けられない  
・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない  
・故障や破損の原因になることがあります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない  
・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す  
・火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために 液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

- 警告**
  - ・火中への投入、加熱、分解をしない
  - ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
  - ・ショートさせない
  - ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない
- 注意**
  - ・⊕⊖の表示どおりに入れる
  - ・指定以外の乾電池を入れない
  - ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
  - ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
  - ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
  - ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく
- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。  
(イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷  
(ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷  
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷  
(ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換  
(ホ) 本書のご提示がない場合  
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)  
(ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷  
(チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	横型スリムラジオ		★お買い上げ日:	年 月 日
型番	RAD-P280N	品番	03-7285	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな			
	★お名前	様		
	★ご住所 〒	-		
	電話	(	)	

修理メモ

★住所 店名 電話	(印)
-----------	-----

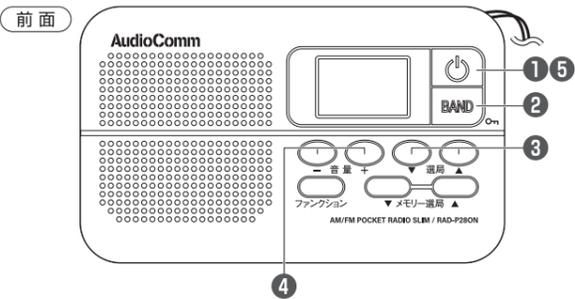
(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。  
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。  
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00
	※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00
	※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

## ラジオを聴く



- 電源ボタンを長押しして電源を入れます。
  - 「On」と表示されたら、指を離します。
- 必要に応じてバンド/ホールドボタンを押し、お聴きになりたいバンド(AMまたはFM)を選びます。
- 選局ボタン(▼/▲)を押して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。
  - AM放送では9kHz単位で、FM放送では0.1MHz単位で周波数が変わります。
  - 選局ボタン(▼/▲)を長押しすると自動で周波数が送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。
- 音量ボタン(-/+ )を押して音量を調節します。
  - 音量の上げすぎにご注意ください。
  - 音量は約3秒間表示されます。
- 終了するときは電源ボタンを長押しします。
  - 「OFF」と表示された後、時刻表示に戻ります。

## FM補完放送「ワイドFM」について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。



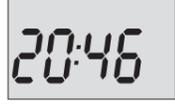
AM放送の表示例



FM放送の表示例



音量レベルの表示例



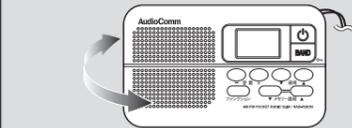
時刻表示の例

音量レベルは0~16で調節できます。また、2回目に降に電源を入れたときは、

- 最後に電源を切ったときの音量レベルが8以上だった場合は、同じレベルで立ち上がります。
- 8未満だった場合は、8で立ち上がりま。

## 受信状態を良くするには

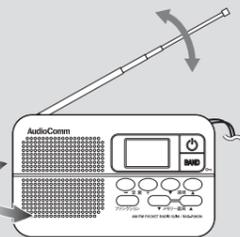
●AM放送の場合  
本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。  
※持ち運びときは、目をついたりして危険ですので、FMロッドアンテナを縮めてください。

## ●FM放送の場合

FMロッドアンテナを伸ばし、本機の方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。FMステレオ放送はステレオイヤホン使用時のみ対応となります。  
※アンテナは水平方向には回転しませんので無理に回さないでください。



## 故障かなと思ったら

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 電源が入らない            | ●乾電池は正しく装着されていますか。⊕⊖の向きは正しいですか。 <ul style="list-style-type: none"><li>●乾電池が消耗していませんか。</li><li>●ACアダプター使用時：ACアダプターが正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。</li><li>●音量が最小になっていませんか。</li><li>●電源は入っていますか。</li><li>●正しく選局されていますか。</li><li>●乾電池が消耗していませんか。</li><li>●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。</li><li>●乾電池が消耗していませんか。</li><li>●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。</li><li>●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。</li></ul> |
| 音が出ない/音が小さい        | ●乾電池が消耗していませんか。   |
| 雑音が多い/音が悪い         | ●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。  |
| 操作できない             | ●ホールド機能が有効になっていませんか。  |
| オートスキャンで放送局が登録されない | ●電波状況は良好ですか。良くない時間帯や場所で行なうと、意図したとおりに登録されないことがあります。できるだけ電波状況の良い状態で再度お試しください。   |
| アラームが鳴らない          | ●現在の時刻及びアラームが起動する時刻を正しく設定しましたか。<br>●放送局は正しく設定しましたか。また、音量設定が最小になっていませんか。   |

## 主な仕様

電源	DC3V 単4形乾電池×2本(別売) 外部電源：DC3V 300mA ⊕⊖ (ACアダプター別売：適合プラグ径/内径1.3mm 外径3.5mm)
スピーカー	口径40mm インピーダンス8Ω
受信周波数	AM：522 - 1620kHz FM：76 - 108MHz
乾電池持続時間	スピーカー使用時 AM受信：約28時間 FM受信：約29時間 イヤホン使用時 AM受信：約31時間 FM受信：約32時間
アンテナ	AM：フェライトバーアンテナ(内蔵) FM：ロッドアンテナ
接続端子	イヤホン端子(φ3.5mmステレオミニジャック)
時計精度	月差約60秒
外形寸法	幅100×高さ60×奥行16mm(突起物含まず)
質量	約58g(乾電池含まず)
付属品	ステレオイヤホン、ストラップ(本体に固定)、スタンド用リング(ストラップに装着済み)、保証書付取扱説明書

※1 アルカリ乾電池新品使用時。JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。 ※外観、仕様は予告なく変更することがあります。  
※本書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

## お手入れのしかた

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



## 保証書とアフターサービスについて

- ### 保証書について
- この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- ### アフターサービスについて
- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
  - 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
  - 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

## オートスキャン(ATS)



ラジオを受信しているときにファンクションボタンを長押しすると、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順にプリセット登録していきます。  
●AM放送・FM放送それぞれ最大35局まで登録できます。ただし、手動プリセット登録ですでに任意の放送局が登録されている場合、オートスキャンを行なうと放送局が上書きされることがありますのでご注意ください。



オートスキャン中は「PRESET」と「SCAN」が表示され、そのうち「SCAN」が点滅します。放送局が登録されると、一時的に放送を受信し、プリセット番号が表示されます。



## 登録した放送局を受信するには

メモリー選局ボタン(▼/▲)を押してお聴きになりたいプリセット番号を選んでください。プリセット番号と「PRESET」は約3秒間表示され、その後は通常の周波数表示になります。

## 手動プリセット登録

よくお聴きになる放送局を任意のプリセット番号に登録し、簡単に呼び出すことができます。  
●AM放送・FM放送それぞれ最大35局まで登録できます。ただし、オートスキャンですでにプリセット登録されている場合、手動プリセットで登録すると放送局が上書きされることがありますのでご注意ください。

- 登録したい放送局を受信している状態で、ファンクションボタンを押します。
  - プリセット番号が点滅しますので、点滅している間に②の操作をしてください。



- メモリー選局ボタン(▼/▲)を押して、登録したいプリセット番号を選び、ファンクションボタンを押します。



## 登録した放送局を受信するには

メモリー選局ボタン(▼/▲)を押してお聴きになりたいプリセット番号を選んでください。プリセット番号と「PRESET」は約3秒間表示され、その後は通常の周波数表示になります。

## スリープタイマー

電源が切れた状態で操作してください。

自動で電源が切れるまでの時間を設定できます。



- 電源を入れるときに、「On」が表示された後も、長押ししたままにします。
  - 「90」(電源が切れるまでの時間)が点滅したら、指を離します。
  - 90分で設定するときは、そのまましばらくすると、スリープ設定が有効な状態で電源が入ります。
- 設定時間を変更するときは、「90」が点滅している間に電源ボタンを数回押し、時間を選びます。
  - 押すたびに10分単位で数字が減っていきます。
  - 時間を選んだ後、そのまましばらくすると、スリープ設定が有効な状態で電源が入ります。「00」を選ぶとスリープを設定せずに電源が入ります。
  - スリープタイマーは、電源を切ることで解除できます。



スリープ設定が有効なときは「90」が表示されます。

## アラーム

電源が切れた状態で操作してください。

本機では、ラジオ放送を起動音にしたアラーム設定ができます。あらかじめご希望の放送局を受信し、音量を調節したうえで電源を切り、以下の操作をしてください。アラーム設定後に電源を入れて放送局や音量を変更すると、変更後の放送局・音量で起動しますのでご注意ください。ただし、最後に電源を切ったときの音量レベルが8未満だったときは、音量レベル8で起動します。

- 電源が切れている状態で、ファンクションボタンを一度短く押した後、長押しします。
  - 一度短く押すと、アラームマーク(☀)と現在のアラーム設定時刻が表示され、長押しすると「時」表示が点滅します。
- 音量ボタン(-/+ )を押してアラーム起動の「時」を選び、ファンクションボタンを押します。
  - 「分」表示が点滅します。
- 音量ボタン(-/+ )を押してアラーム起動の「分」を選び、ファンクションボタンを押します。
  - 点滅が止まり、設定が確定します。しばらくすると現在の時刻表示になります。
  - アラーム設定が有効なときは電源のオン/オフに関係なく、アラームマークが表示されます。



## アラーム設定時のご注意

- 何も操作しない時間が約5秒間続くと、それまでの設定で起動時刻が確定します(現在の時刻表示に戻ります)。設定途中で終了した場合でもアラームマークが表示され、起動時刻になるとアラームが起動しますので、必要に応じて最初からやり直してください。
- アラームを解除するには、電源が切れているときにファンクションボタンを押して、アラームマークを消してください。
- アラームマークが表示されているときは現在の時刻の設定はできません。現在の時刻を設定するときは、ファンクションボタンを押していったんアラームを解除してから操作してください。

## ラジオを聴いている状態でアラーム時刻になると

- アラームは起動せず、そのままラジオを受信します。

## アラームが鳴ったら

- アラームを止めるには、電源ボタンを長押しして電源を切ってください。ただし、そのままでは翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。アラームを鳴らないようにするには、ファンクションボタンを押してアラームマークを消してください。

## ホールド機能について



電源が入っているときにバンド/ホールドボタンを長押しすると、ホールド機能が有効になり、かばんの中に入れたときなどの誤動作を防ぐことができます。

- ホールド機能を有効にすると、ディスプレイにホールドマーク(On)が表示されます(設定直後や任意のボタンを押したときは、しばらく点滅します)。
- 解除するには、ホールドマークが消えるまで、もう一度バンド/ホールドボタンを長押ししてください。



## イヤホンで聴くときは

ステレオイヤホン(付属)のφ3.5mmステレオミニプラグを、本機のイヤホン端子に差し込んでください。

- 本機のイヤホン端子はステレオ対応ですので、FMステレオ放送の場合はステレオ音声を楽しめます。
- イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえなくなります。

